

## 2024年度法人本部事業計画

(自) 2024年4月1日 (至) 2025年3月31日

### 1：わ・は・わ創設の想い

人と人との「輪」 人と自然との「和」

### 2：理念

障害のあるなしにかかわらず誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して

### 3：経営理念

- (1) 基盤の強化
- (2) 福祉サービスの質の向上
- (3) 事業経営の透明性
- (4) 職員の社会的保障の確立
- (5) 自己決定権の尊重

### 4：使命

社会、地域における福祉の発展、充実に寄与する。

### 5：目的

理念に則り、個人が尊厳をもって、その人らしい自立した生活が送れるように、障害をもつ人も、そうでない人も、誰もが心豊かに安心して暮らせる地域社会の実現をめざします。

地域の輪の中で、障害のある方の社会参加や自己実現を支援しながら、そこに住むすべての人々がお互いに協同し、支えあい、一人ひとりが自分らしく生きられる社会を作ること事業の目的とします。

### 6：2024年度事業方針・重点的取り組み

「5ヶ年事業計画」に基づいた以下を重点課題として取り組んだ結果と今年度の活動方針です。

#### (1) 障害福祉サービスの質の向上

##### ①意思決定支援を推進します。

2023年度は神奈川県意思決定専門アドバイザーの専門アドバイザーの富岡貴生氏を講師に迎え、研修を行うことができました。2024年度はより実践的な取り組みを行います。

##### ②工賃向上を推進します。

2024年度からの報酬改定の影響も受け、工賃向上に対する意識をさらに高めていく必要があります。あいコープミートセンター作業（請負）やひなた農場事業の運営のほか、工賃向上をより意識した事業所経営を目指していきます。

#### (2) 人材の確保・育成・定着

##### ①職員研修の充実を図ります。

2024年度は新たに「人材育成チーム」を編成し、これまで以上の質の高い支援を目指すとともに、将来を見据えた中長期的な組織作りを進めます。具体的には、研修、セミナー、各ブロックでの勉強会、職員間の交流の機会を多く設けます。また、管理職のトータル的なレベルアップを目標とし、毎月管理職研修を行います。

2024 年度社会福祉法人みんなの輪 全職員研修 年間計画

日時 予定	研修内容	対象者
4 月 20 日 (土) 8 : 30 ~ 12 : 30	●新規採用職員研修① ・社会福祉法人で働くことの意義 ・みんなの輪について ・権利擁護・虐待/記録の意義と書き方 ・福祉サービスとは (利用までのプロセス) ・地域に目を向ける、多職種連携	2023 年度採用職員
11 月	●新規採用職員研修 ② 内容未定	
5 月~7 月	●事業所交換研修 ・遠田、仙台、黒川、相談の事業所での交換研修	同上
4 月~3 月 毎月	●管理職会研修 ※毎月、管理職会議終了後 講師：管理者持ち回り *8 月・2 月/吉武顧問	管理者
5 月	BCP 研修	全職員
6 月	法人交流会	全職員
7 月・9 月	実践研修 (いちご)	全職員
9 月	リスクマネジメント研修	全職員
10 月	実践研修 (養豚)	全職員
12 月	アセスメント研修	全職員
2 月	虐待防止・身体拘束廃止研修	全職員

②人事評価制度を導入します。

2023 年度も各職員から提出された自己評価を基に管理者の評価を行うとともに、理事長面談、管理者面談を経て、人事評価委員会で職員評価を行いました。法人内のさまざまな職種に適した評価を行えるよう、協議を進めます。

③健康経営を推進します。

2024 年度も 2023 年度同様、経産省・日本健康会議の「健康経営優良法人」としての認定を受け、健康維持に努めていきます。また、このことを法人の PR(強み)として、外部にも積極的に発信していきます。

④新卒者採用に注力します。

2024 年度は、2023 年度同様、新卒者採用ができました。2024 年度は学生さんとの接点を持つ機会を多く設け、新卒者確保に努めていきます。

(3) 永続的経営のための基盤強化

①施設設備等の老朽化に備え、目的積立を行います。

2023 年度はひなた農場のアニマルウェルフェアの推進のための目的積立を行うことができる見込みです (2024 年 5 月理事会に提案予定)。2024 年度は、さらに将来的に改修等が必要となる施設を検討し修繕費用を見越した積み立てを始められるよう検討していきます。

②職員の人件費の目的積立を行います。

2023 年度は、新広瀬建設に係る支出を優先したため、人件費目的積立は行えませんでした。

2024年度も新わ・は・わ広瀬の安定化に向けた人員の確保等が優先課題となります。

③将来の整備等に備え、目的積立を行います。

今後の事業展開に向けた取り組みとなることから…

→< 1 >本部機能の強化

2024年度は、サテライト的な本部運営を基盤とし、そのうえで、今後の本部の体制作りを協議・検討します。

< 2 >生協あいコープみやぎとの協働参画事業の推進

I. あいあいファームわ・は・わ田尻の環境整備

2023年度も職員研修を通し、環境整備に取り組みました。2024年度も同様に取り組みを継続します。

II. ミートセンターの作業受託

2023年度はミートセンター作業を限られたメンバーで滞りなく行うことを目標に取り組みました。2024年度は、取り組めるメンバーを増やすこと、さらなる習熟度(スキル)アップを目指します。

III. わ・は・わ大衡でのパン製造

2021年度～継続して大衡施設内の改修(新たな機械・機器の設置費用含め)を検討してきました。費用面や人員面での課題等も多いことも見えてきました。引き続き検討を続けていきます。

< 3 >共同生活援助事業(グループホーム)の設置

I. 大郷町内グループホームの設置

「グループホームあい(定員10名)」を2023年4月1日開所することができました。

II. 大衡村内グループホームの設置

これまで同様に2024年度も具体的ニーズ調査を行い、検討を続けます。

III. 美里町内グループホームの設置

これまで同様に2024年度も具体的ニーズ調査を行い、検討を続けます。

< 4 >わ・は・わ宮城野の施設整備

2021年度以降修繕を重ね、現状ある程度の整備は完了しました。現状の施設場所の優位性(交通の便等)を考慮しながらも、移転含めた施設の有り様を検討し判断していきます。

< 5 >仙台圏における生活介護事業所の設置

2023年度は仙台市の障害者福祉施設整備事業として、多機能事業所(生活介護及び就継B)の建設を行いました。2024年度4月1日から開所します。

## 7 : 本部機能職員名簿

職名	氏名	前歴	資格	年齢	備考
・法人統括 * 理事長	仲野谷 仁	本部	社会福祉士 精神保健福祉士 公認心理師	47	全体統括
・事務長	高橋 寛 (大衡、GH 大郷兼務)	本部 / 大衡 / GH 大郷		64	総務
・事務長補佐	長谷川博美	本部	ホームヘルパー1級	56	会計・労務

・法人統括補佐(兼務) * 常務理事	櫻田 真悦	パン		44	財務・事務 生協対応
・法人統括補佐(兼務) * 常務理事	伊藤 公善	美里	社会福祉士	43	支援・事業

## 8 : 理事会・評議員会開催予定日

		日時(予定)	場所(予定)
理事会	第1回	5月31日(金) 午後4時～	わ・は・わ大郷
	第2回	9月27日(金) 午後4時～	わ・は・わ大郷
	第3回	12月20日(金) 午後4時～	わ・は・わ大郷
	第4回	3月21日(金) 午後4時～	わ・は・わ大郷
定時評議員会	—	6月15日(土) 午前10時～	わ・は・わ大郷

\* 定時評議員会は決算承認理事会終了後から中2週間を開けて開催

## 9 : 資金計画

別紙収支予算書の通り